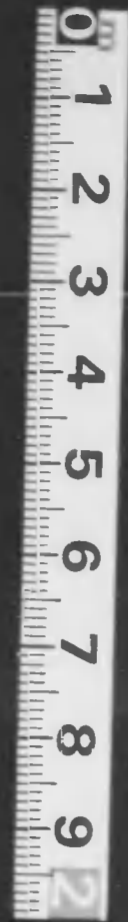


寫眞
週報

情報局編輯
十一月四日 第二千四百五十七號



なか／＼君は頑健さうだな

眞珠湾に散つた九軍神も

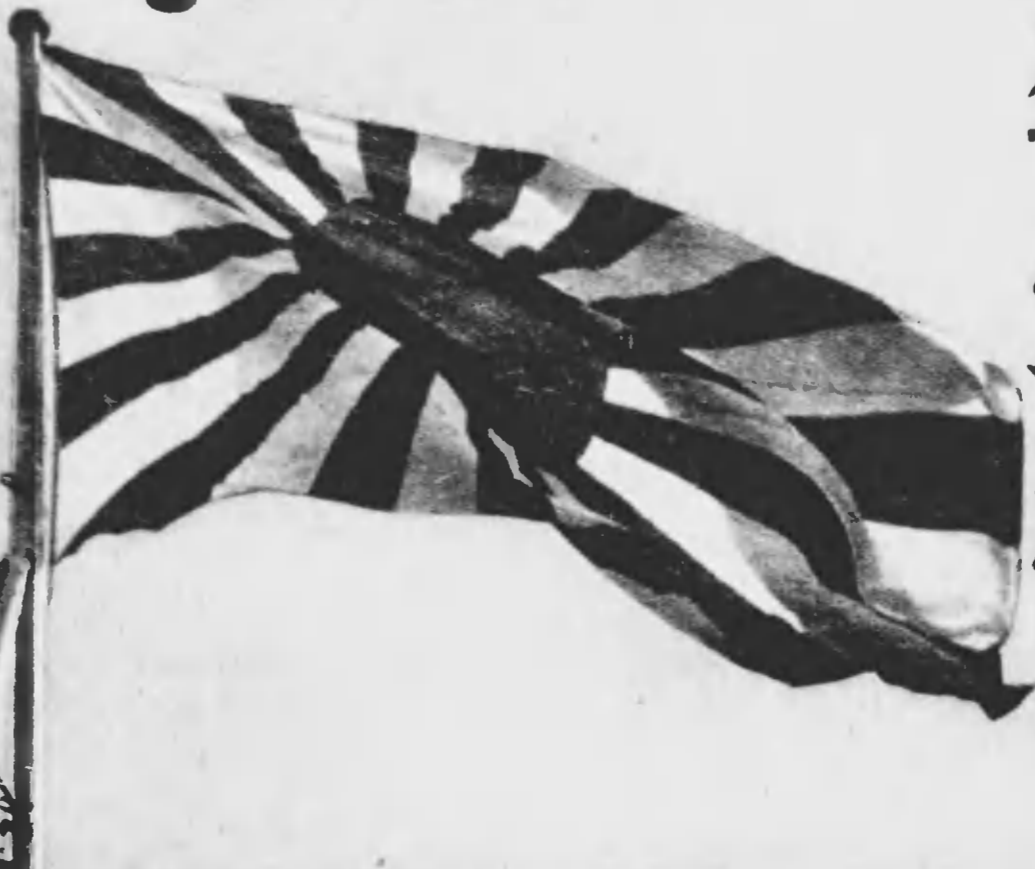
かつては、君のやうな青年だつた

やれるさ

君にだつて

軍艦旗が、君を招いて

潮風にはためいてるぞ



君等も早くやつま来い ぼくら海軍志願兵の生活

□ オールが折れるか、腕が折れるか、意気する志願兵のキャプテン

横須賀海兵團

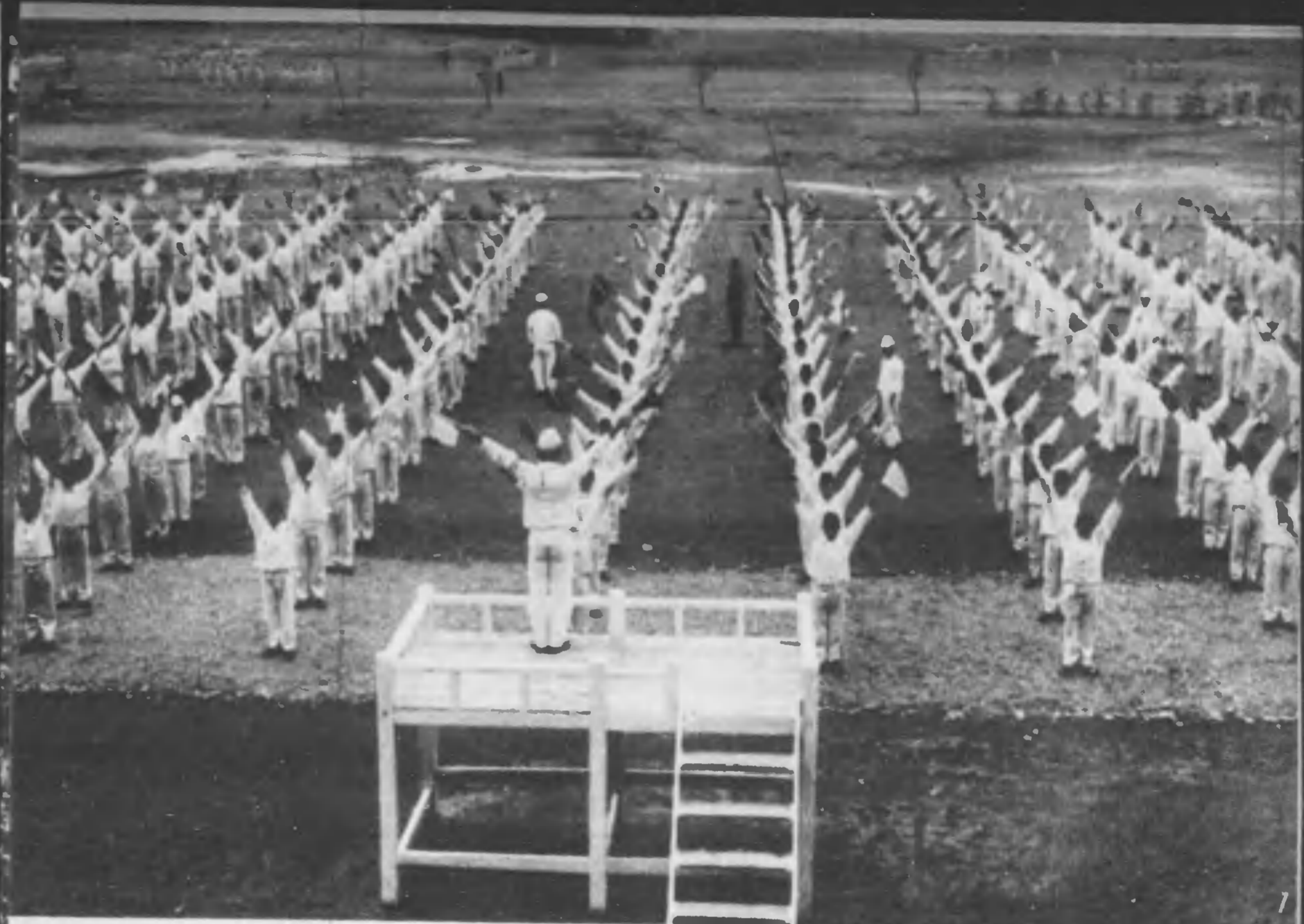
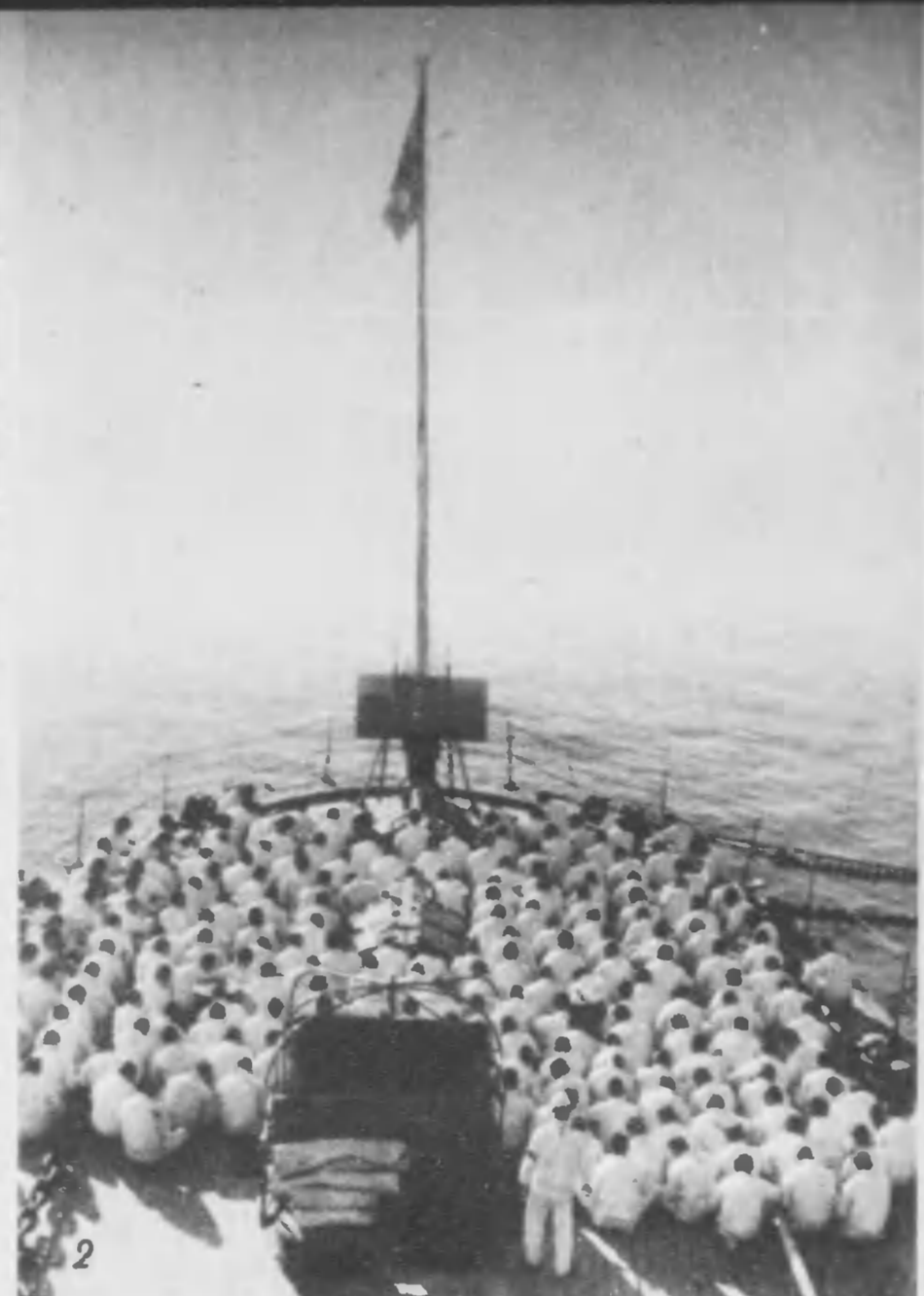
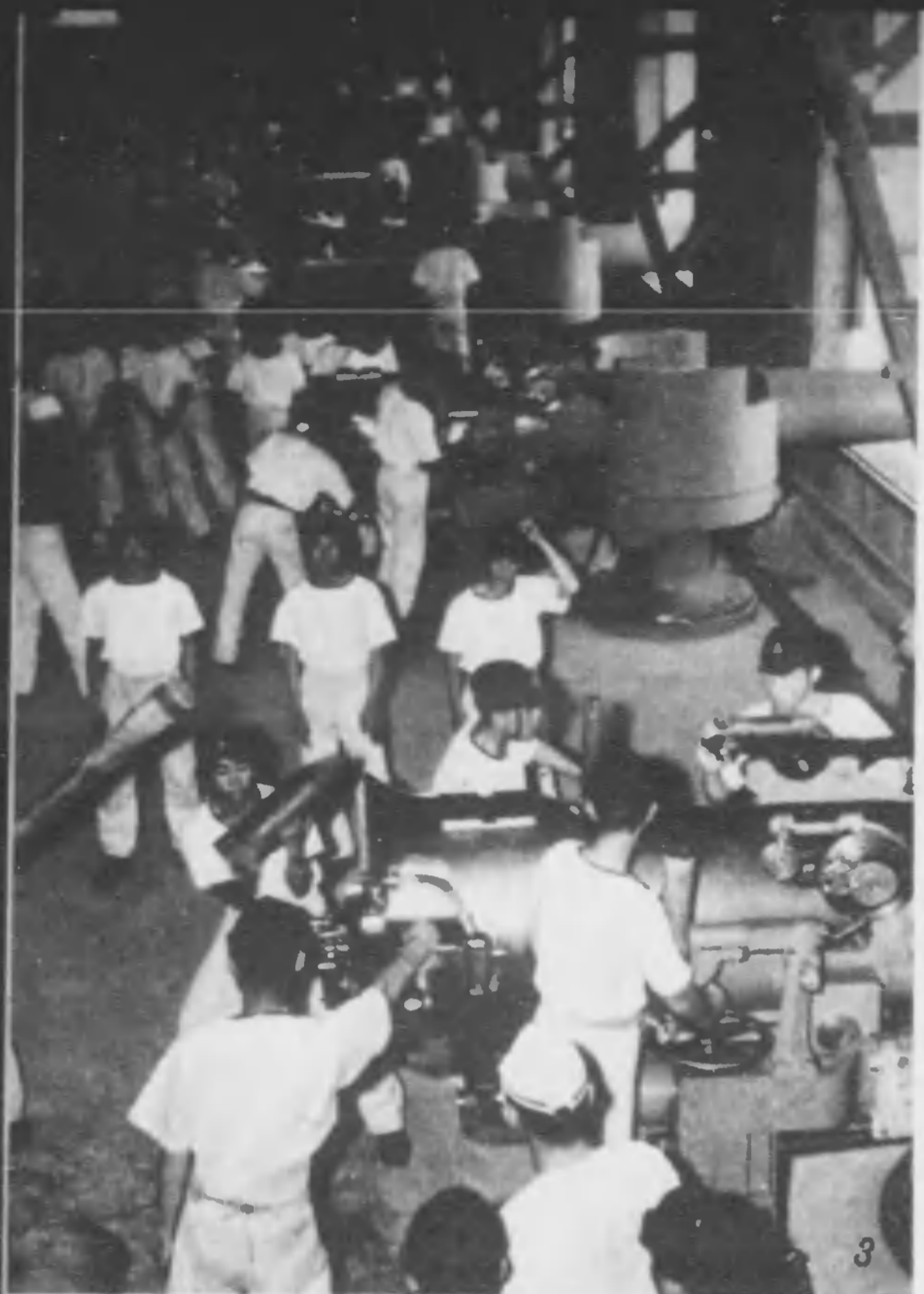
早いものだね。僕が志願兵として海軍にはいつてから、もうかれこれ一年になるよ。海軍の訓練は月々金と日曜がないといはれるやうに、僕たちも毎日學課に訓練に、猛訓練を喰んでる。僕たちの生活よりは真実によつてわかつて貰へるから省くとして、海軍を志す君へ海兵團の雰囲気や志願兵の兵種にどんなものがあるかといふことから、多少とも参考になる便り

をしよう

君もご存知だらうが、わが海軍の戦線は今や太平洋だけではなく、大西洋にまで伸びた。この間に挙げられた艦々たるわが戦果は、御後威のもと先駆隊の勇戦奮闘の賜であるが、戦ひはまさにこれからだと思ふ。さう思ふと胸が鳴るね。僕が撃つ砲弾の一發で、敵艦を撃沈することができると思へば痛快ではないか。僕たち志願兵はよるとさはると、この胸で何十隻の敵艦を沈め、何百の敵艦を射ち落とすかと、まるで獲らぬ理の皮算用ではないが、天晴れの海兵ぶつた話に花を咲かせてみる

氣持はこの位として、さて、志願兵の兵種に水兵のあることは誰でも知つてゐるが、この水兵のうちにも一般水兵と少年水兵、少年電信兵とがある。一般水兵の主な役目は、僕のやうに大砲を受持つものや、水筒又は測的関係、艦艇の運用や信銃等の職務にたづさるものがある。水兵といふのは昭和十七年度に新たに採用されたもので、敵の潜水艇や軍艦の所在を測定するのが主な役目だ。電信兵の任務はご存知の通りだ。次ぎは飛行兵(乙種飛行科練習生)、これは少年飛行兵と呼ばれるもので、海軍練習航空隊に入隊して特別の教育を受ける飛鳥の候補だ。このほかに航空機の整備、發動機と兵器の整備取扱に當る整備兵、汽機、機銃、電氣機械を取扱ふ機務兵、艦泊、鑄造、潜水作業などに従事する工作兵、ちよつと變つたところで、軍醫兵がある。衛生兵、主計兵のあることはご存知だらう。以上が志願兵の兵種だが、さてこのうち君がどの兵種を遊ぶかお父さん(親権者)とよく相談して、期日におくれないうちに至急志願書を市、區役所または町村役場に提出し給へ、君の来るのを歸省して待つてゐる。たしか、今年の志願兵の検査は、横須賀鎮守府管下では十月上旬、佐世保、舞鶴管下では十月下旬、呉鎮守府管下では十一月上旬からそれぞれ開始されてゐるから念のため申し添へてお





3

2

7

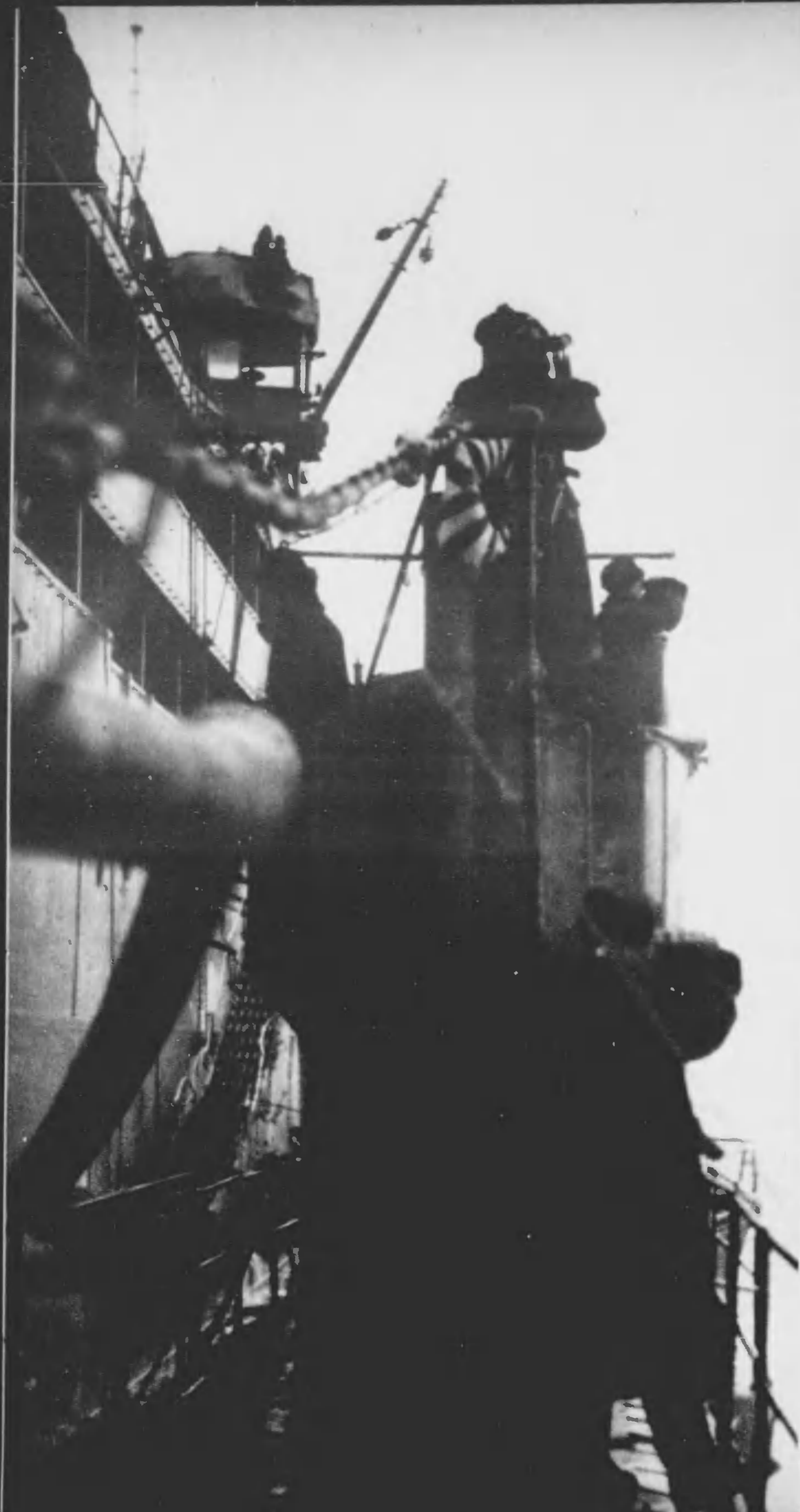
君等も早く来い
はやく来る海軍志願兵の生活



- 1 一糸乱れぬとはこのこと、鮮やかな手紙情状
- 2 潮風を胸いっぱい志願兵たちは艦上を教習に學課を學ぶ
- 3 轟然一發、敵艦を撃沈する日も近いぞ、必殺の砲撃訓練
- 4 一日の訓練を終へ楽しい入浴、背中を洗し合へば疲れもさらり
- 5 けふのご馳走は肉のうち煮だ。ブカツとカレーも強くうまい夕飯だ
- 6 錦のマークに憧られて、吊床の夢路は深い
- 7 僕等は海軍志願兵、今に行くぞ船橋へさあ、君もやって来い!

6

4



だ中闘奮は輩先で北で南

↑ カタパルトで打出されたわが艦機は洋上運か敵機に向ふ
↓ 敵艦の艦橋を狙って一發必中の巨弾は装填される

撮影
宮川海軍報道班員
平川海軍報道班員
國平海軍報道班員
藤原海軍報道班員

↓ 潜水艦の網は何處に張られる？ 出撃を前にして艦長の訓示は海上に響くとひびく

↑ 寒風と闘ひ北海を渡る潜水艦 二つ、三つ、四つ見張動員員は眼は一瞬に集中された





街も心も生れ變つて
昭南島に歸還した人々



ヘルメットに運動靴、手廻り品だけ持ったお嬢さん。「息子と一緒に一度こゝで働く」と、涙ぐましい姉々も。

シンガポールから昭南へ、見るものすべてが目新しく感じられるほどこゝは變つた。英人が威張り散らしたのは昔のこと、こゝは既に日本の領土だ。

マレー、スマトラ、ボルネオ、ビルマ方面から拉致されてきた邦人たちの大部分は先だつて日英交換船龍田丸で日本の新領土として生れかへつた昭南島へ感慨深く歸還したが、戦前早くも南方の第一線に營々、日本の前進部隊として活躍してゐた五百餘名の人々は老いも若きも、更生の歡喜を新たな勇氣にかへて、南方の豐富な知識と經驗に物いはず、新施設に挺身、協力することになつた。

撮影 陸軍報道班

「皆さん、永い間働を勞働でした下船を前に關係當局から戦争の経過や、南方占領地に對するわが總方針などについて行きとよいた説明が與へられた」



「家で見れば、昭南島の生活は、戦前の生活と大體同じです。自分のお家を見れば、子供もお出に足す、近所の友人の家の様子も、先にお出になつた。近所の友人の家の様子も、先にお出になつた。近所の友人の家の様子も、先にお出になつた。」



ドイツの戦争生活を観て

盟邦ドイツ国民の戦時下における生活ぶりについては、昨年本誌第九十二号でもお話ししましたが、こゝに再び盟邦ドイツを詳しく観察され、最近開始された東京地方裁判所の判事高田正氏のお話をお聴き願ひ致します。

閑のない生活

問 世界各国いづれも國運を賭して、戦つてをりますが、最後の勝利が極端側にあるべきことはいふまでもありません。しかしその勝利を獲得するには、國民の協力が必要であると思ひます。そこで最近の盟邦ドイツの戦時生活ぶりをお聴きしたいと思ひます。まづこの協力戦の最中、最近、日本でも遺憾ながら國民の中に、統制経済を起す不心得者がありますが、ドイツではどんなふうで

高田氏 今度の大戰はドイツにとつても絶對に負けてはならない大切な戦ひです。殊に負けた悲惨をつくづく前大戰において國民は味はつて知つてゐますから、割合に統制経済の違反、いはゆる閑行爲などはありません。尤も、中には多数の國民のこともありますが、多少はあります。が、あつても極めて少数であり、もし檢閲された場合は相當な懲罰に處せられますから大體ありません。

規律正しい生活振り

問 それからドイツでは物を粗末にしないといはれましたか。

高田氏 これは子供の時から教へられてゐるやうでして、例へば食物などについていへば、どんな高貴でも皿にある最後のソースの一滴まで綺麗に飲んでしまひます。また皿に料理の残りがあれば、パンまたは馬鈴薯などで綺麗にふき取つて一物も剩さないやうにする、かういつたことを我々は會食でたび／＼目撃して、内心わが國を恥みて、甚だ恥づかし考へたものでした。

問 食物の場合など戦争後、食糧が不足して来たからではないでせうか。

高田氏 そんなことはありません。ドイツは元來、今いつた通り日本よりずっと北に位置する國ですから、食糧が日本ほど十分でない、そのためにかういつた良習慣を生み、延いては物全般に及んで粗末にしないといふことになつたのでせう。かういつた非常時局においては特にわが國民も模倣すべき點であると痛感しました。

私は規律の正しいことは、嫌でから聞いてゐましたが、時間を厳守することには驚き恐ろしい位で、私はドイツ人と約束するのは努めて遅けるやうにしてゐました。そのことは、着し時間に遅れるやうなことがあつたら、日本人はだん／＼がない、延いては日本はだん／＼がないといふ感じを相手に與へることを慮れたからですが、ドイツ人は會合などの場合、ど

の時間を過ぎられるとか、莫大な罰金(例へば二十万マルク(邦貨約三十万円))とか二十万マルクとかの罰金、不能に近い罰金を科せられます。それでも懲りないやうな者は、いはゆる體罰を以て處罰されます。それですから、この戦争な期間と國民の自覺もあり、兩者相俟つて非常に規律正しいのでした。

問 わが國でもだん／＼罰金が重くなつてゆくやうですが、まだドイツの罰金に比べて軽いのは、

高田氏 それは政府が國民を信頼してゐるからであつて、生活必需品などの制約があまり行かない場合には、國民の生活が不安になり、ひいては今度の戦争にも勝ち抜くことが出来なこともないと思ひます。従つて政府では盟邦ドイツのやうに閑行爲に厳罰を以て處罰してゐるのではなく、そこまで行かないのは、國民の自覺自戒、即ち、日本國民の精神的成熟である日本精神に感へてゐるやうでありますから、國民もこの政府の期待に背かないやうに、大國民たる態度を以て閑行爲の絶滅に協力して欲しいと思ひます。この外、ドイツに滞在中、わが國でもせむし實行して欲しいと思つた點が、三あり

高田氏 體育に熱心な點とか、日本ならば寢居の年輩ですが、備いてゐること、泥酔者のゐないこととか、規律正しい點などです。

問 それは何でせうか。

高田氏 體育に熱心な點とか、日本ならば寢居の年輩ですが、備いてゐること、泥酔者のゐないこととか、規律正しい點などです。



品物整理のため山に所記集位郵事車のソリルベ

問 これもなにより、この頃、大分日本

大切な青少年の養

問 戦争と體育と殊に關係があります。ドイツがあの戦前の勢いでヨーロッパ各國を相手にしたことは、驚き恐ろしい、無敵に負ふことの大であることはいふまでもありません。ドイツではどんな風に健康に留意してゐますか。

高田氏 ドイツでは民族の教育は、單なる知識の注入ではいけない、健全なる肉體には健全なる精神が宿るといふ建前で進んでゐる。たとへば、學力は低くても、健全なる肉體と決断力を有してゐる者が方が利口で、虚弱者より秀れてゐるとしてをり、輝かしく肉體の育成といふことを目標にして教育してをります。

ドイツ國民の新鮮な空氣と、日光への欲求は我々からみると非常なもので、大抵健康する時は窓の窓を開放し、空氣にさらしてをります。これは冬の朝も曇りなく進行してゐますが、それは必ずしも自今連年ばかりでなく、生後まもない乳児をすら、一定時間、乳母車に乗せて大氣中にさらしてゐる位です。それは注意してみてゐますと、どんな寒い冬の季節でもやつてをります。

このことは地圖で承知のやうに、首都ベルリンさへ日本の樺太國境より緯度からいふと二十度も北にある關係をお考へにすれば分ること、日光に恵まれる期間は俄かに五月から八月迄の四ヶ月であるため、常に指導されるといふ譯でなく、自ら常に日光の大切なることを知つて吸収に努めてゐる譯です。夏になるとベルリンその他の市の郊外に、裸になつた群が一日中、日光浴してゐるのを見ることも出来た。これなども強健なる身體は民族發展の根幹をなすといふ政府の言位にもよりますが、國民自らも行つて

もその點は改善されて来たやうに思ひます。

高田氏 大分よくなつたやうです。最後にドイツでは日本と建物が違ふ點もありませうが、大人と子供とは、その世界を實に嚴重に區別してゐまして、大人が用があつて外出する場合など子供を絶対に同伴しません。それですら大人が自分の達の娛樂や慰安を求めに行く時は、なほ更

あるわけです。その他かういつた健康上留意してゐる點で、わが國でも徳山の石とする點が非常に多いやうに思ひました。

弊つばらひに制裁

問 大きに老人が働いてゐるといふことでしたが、それは勞働力の不足からきてゐるのぢやないでせうか。

高田氏 それもありません。しかし一般に昔からさうなので、わが國ならば寢居する年輩の人々がそれ／＼の職域において國家のために働いてゐることは、勞働力不足の際、わが國民の絶すべき點であるやうに思ひます。例へば電車の運轉手とか、圓タクの運轉手といつた相當職を使ふ肉體勞働にも従事してをれば、頭腦的職業方面に行つては、大學の教授といつた人々も熱心に研究にいそんで、斬新しい研究成果の發表をしてゐることは驚くべきことです。このことは、わが國の知識階級の人々の省みて治計三十の思ひのすることのやうに思ひます。

また、これは餘談になりますが、一體、わが國の人は酒に酔つて街上で體面を演じてゐる者を見ても、笑つて割合に大にこれを許してゐますが、このことは國威の衰微上憂心すべきことで、このため大東亞共榮圈内においてすら、かなり支那人、滿洲人などから輕蔑されてゐることを見聞します。盟邦ドイツでも酒を嗜む者は少くありませんが、飲酒のあげ句、泥酔して一般公衆の撃電を買ふやうな者は一人もをりません。観衆の如きは隊規の嚴格を以て喝つてゐるのです。飲酒の結果、體態を演じたやうな場合は、嚴重な制裁にあひます。かういつた風紀に對する良習慣もこれからの日本

つて個人主義から來てゐるのぢやないでせうか。

高田氏 個人主義ではないやうです。家庭の義から來てゐるのです。大人に席を譲る點など聴いてみますと、大人はそれぞの職域において國家に御奉仕してゐるのだ、それに反しわかれ／＼子供は何の働きもしてゐない。だから、せめて自分達は立つてでも大人に席を與へ、大人に休養をさせて、明日の働きを希はうといつた精神から出てゐるやうです。これなどから見よこととす。

わが國でもこれからの日本を背負つて立つ、第二の國民の義といふことは實に大事なことで、その義の良否は、勢ひ國運の消長にも關係することと思ひますから、早速採り入る、良い第二國民を養成して、國家の要に應へたいもの

問 これらの點は小さいことのやうですが、ドイツの大勝利を得た原因のやうで

高田氏 まづこれはドイツに學ぶべき點は幾らもありませんが、いま述べたやうな點が特に日本から行つてゐるが、日本に立ち立つてゐると思はれる點です。日本は戦後で英米に痛撃を與へました。本格的に戦後正にこれからで、最近の情勢は第二次大戦に入り、長期戦化して來ました。これから國民が緊密に一頭一頭の強い國が立つてゐるといふこともありません。わが國も盟邦の美點を模倣するところなく採り入れて、一位一心、心を聚めて、聖戰の完成、大東亞共榮圏の確立に邁進しなければならぬとす。

問 早くいつて獨立の精神を養ふ、悪くい



輝く子寶日本一

輝く皇國の子寶部隊、殊勳の千五百二家庭が菊の佳節の十一月三日厚生大臣から表彰を受けました

『父母を同じうする編出の子宝にして満六歳以上の者十人以上を天災地變戦役等による外一人も缺かさず父母自ら心身共に健全に育成した堅實な家庭』

といふ條件に合格した日本一優良多子家庭ばかりだが、今年も昨年度設けられた子寶部隊長へ厚生省から贈る御褒美の育英資金も初めて贈られることとなり、今年も中等學校二百二十六名(内女子百名)専門學校以上二十七名計二百五十三名に贈られました。今年の最優秀組は十四人の子寶をもつ家庭でそのうちの二組、帝都の肥沼さんの御家庭をみるとお父さん五十歳、お母さん四十三歳の間に六男八女、この大部隊を育てあげた努力は大したもの。さて皆さん、この人口問題の大折な折から世界人口戦に華々しく打ちかたうではありませんか

肥沼さん一家の團圓ぶり―右から次女登恵(二)さん、長女麗方(二四)さん、七女智子(四)ちゃん、七男秀雄(二)ちゃん、お母さん(四三)さん、六女麗子(六)ちゃん、四男俊(二)君、三男芳夫(三)君、五女貞子(一四)さん、六男修(八)君、五男忠興(一〇)君

お父さんの忠助(五〇)さんは所用で旅行中、山中電報に出ておる長男芳夫(二〇)次男浩(一八)の二君は夜勤で不在、三女富子(二二)さんは養女に行き、四女照子(一六)さんは世田谷の親戚に手付に出てお留守といふ大権梅で、カメラにおさまつたのはお母さんを中心に子寶十人

それにかつさんのお腹にもう一人、来月がお産だといふお芽出度願ひである



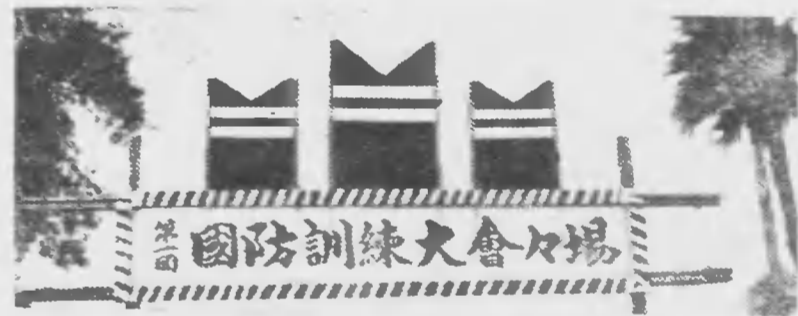
撮影 北海タイムズ社



二十五キロの砂嚢を擔つて強行軍を進行

若人たちの龍巻隊

北臺 會大練訓防國に灣臺

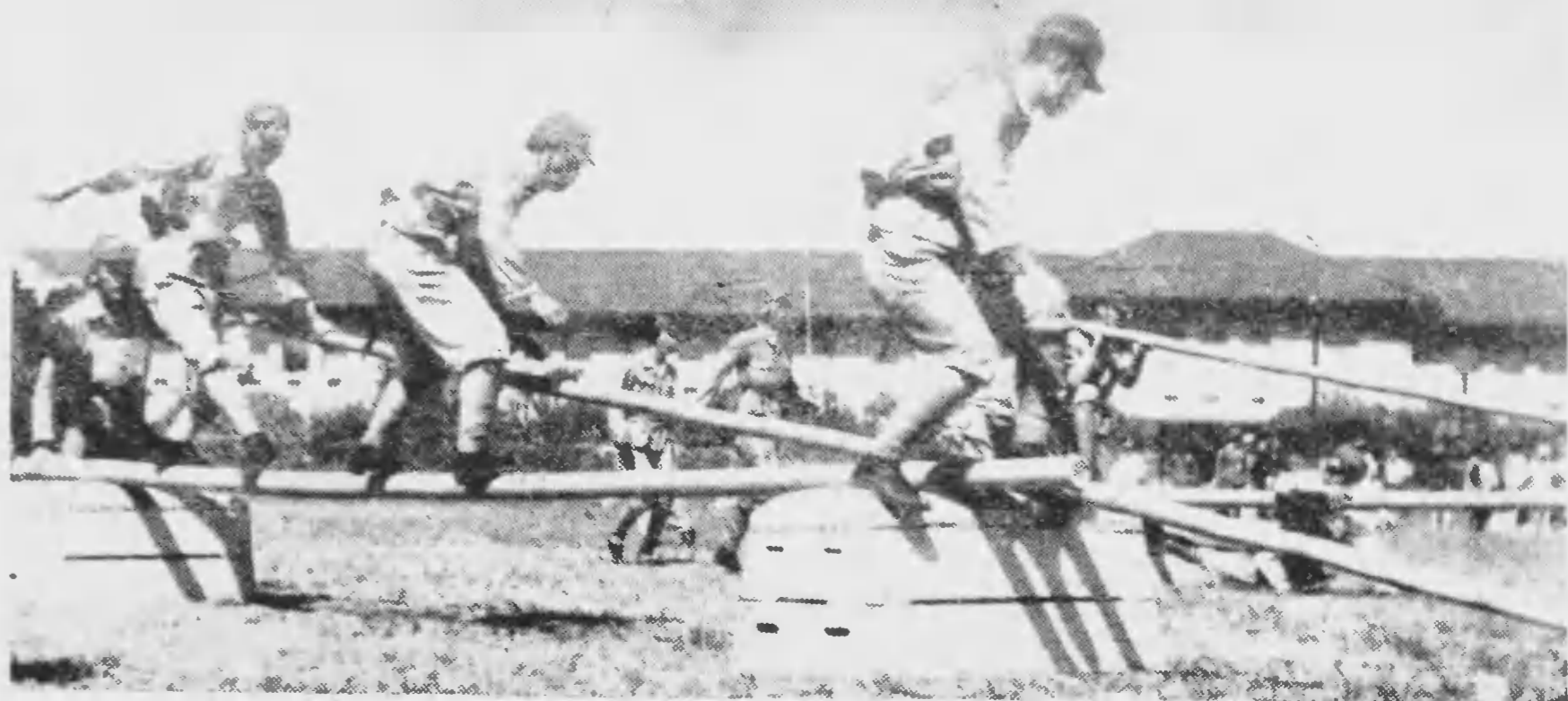


南の基地、臺灣に豪華な健民の繪巻―臺灣ではさる十月十日、十一日の兩日にわたり皇民奉公會中央本部主催にかゝる初の國防訓練大會を臺北に開いた

競技種目はこれまでの五輪主義を一擲し、國防訓練の名にふさはしく第一日荷重強行軍、相撲、長距離競走、第二日龍巻運動、銃剣術、自轉車競走等であったが、全島から馳せ参じた若人たちは場上の榮譽を誇つて眞摯敬禮、明後年から實施される志願兵制度を目指して健民奉公會の意氣も高らかに、豫期以上の成果を収めて終了した

大を吐く激戦―龍巻運動

撮影 橋本勇



同就職場から新郎新婦 東京第一陸軍造兵廠



「まあ仲もどうやら一人前になりましたんで……」相談所の主任の前で和やかに露出話の話をすゝめられる。女には婦人の係が親身になつて話をすゝめる



健康診断書は廠内の病院の軍醫さんが



相談所長の前で今日は結婚を取かして、こゝに又新しく親心の實がむすばれた



「華式の日制をきつりと」黒板は相談所の書門
ぶりを臨場にもつと



「お出度く結ばれた晴れの日、神前に誓ふ明日からの新しい生活への決意をこめてまぐしを掲げる下先もよろこびにかすかによるへる

「職場は最も神聖な人生道場だ。やがて入る結婚生活もこゝで鍛へた精神でやつていこう。それが妻の生き方なのだ



「いろいろお世話になりました」新生活に入つた二人は新しい決意をもつて職場に入る前、相談所長に心から感謝の言葉を述べる

お國のためによい子を澤山生むためには、適齢期にある若い方々にどしどし結婚していただくなければなりません。そのために各府縣公私團體でも結婚相談所その他の機関を設けて、できるだけお仲人の役を勤めてゐるのです。これまでは「同じ職場の結婚」といふと兎角誤解をまねき勝ちで、あまり賛成されなかつたのですが、健全な結婚はむしろどしどし獎勵して一組でも多く結婚生活に入つていただくたいのです。そこで男女適齢者を澤山もつてゐる大工場等でも積極的に職場結婚を奨めてゐるのですが、東京第一陸軍造兵廠では全従業員の内割を占める女子工員、ことに地方から親許を離れてきてゐる適齢者達に、婚期を遅らせまいといふ親心と人的資源の擴充といふ立場から結婚相談所を設け、親許への相談から健康診断書作成、式や簡素な披露はもとより婚約届までの世話をして早くも八十二組をまとめ、年内には百組を超えようといふ朗かな結婚總進軍ぶりを見せてゐます



↑ 丹精こめて作ったこの果報。純白な綿はいま箱にあふれる

衣料生活の自給自足をはかかって、『物の戦争』に長期戦態勢をうちたてようと、山梨縣の棉を作る村、西八代郡の大岡村では、すでにすつと以前から棉花を栽培して、衣料生活の設計をはじめたが、その着実な努力が實を結んで、いまや段落り収量八十貫を越えようといふ立派な成績を収め、この分ならことは衣料切符も戦斗をつけて全部返上できようといふ嬉しい見込。棉の實の採集期に入った同村では、お米のとりいれを越へて息つく暇もなく、いま新棉の増産に大忙だ

撮影 橋 忠 次



↑ 棉の木は揃ひの純白な帽子をつけ。村はいま穂出で棉の採集だ



↑ 棉の木は揃ひの純白な帽子をつけ。村はいま穂出で棉の採集だ

自給自足の純綿です
山梨縣大岡村

誌日國漢争戰亞東大
介通 川石



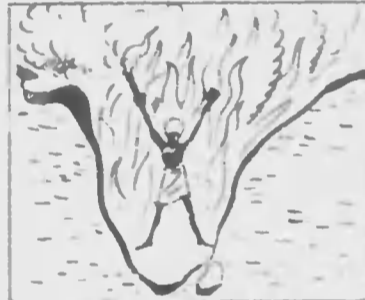
断絶を兵鬼龍米の要索上本が我



併軍備全備敵の襲来印印



抗抵に強頭軍師のルカスガゴマ



大國に印全併火の英反



文見目おの機強敵に日の滅倒



寸伸を手の置業につ尖を源資力能

海にあらがれる太平洋本船
君がこんな夢をみました

杉 狂夫

1 月々食々が
んじつて

2 征きますと
出陣だ

3 叩き込んだぞ
ニッポン

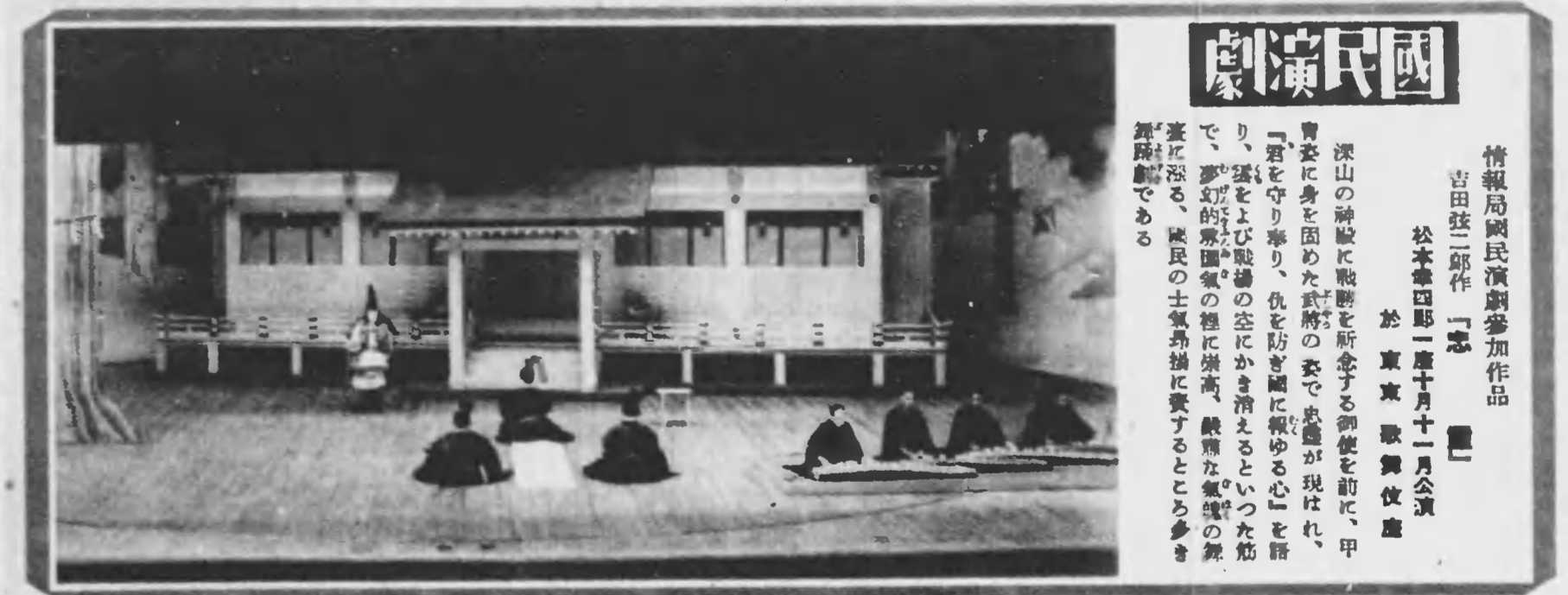
4 洋西大

5 輸出果物の
放れ葉

6 ハナヤ屋
も破壊した

7 この手柄、知って
鉄壁は破き上る

8 ハテナ、イリヤ、
海外の的の背は押



國民学校のイナゴ討伐隊
宮城縣古川國民学校の「イナゴ討伐隊」は、秋
期の田圃にはびこる稻の害敵イナゴを退治しよ
と三千名が繰り出して大がかりなイナゴ討伐隊を
つくり、秋晴れの十月五、六、七の三日間の田圃
一帯に大規模な掃蕩を行いました。各部隊で捕
獲したイナゴは、三日間の戦果は三十三石にも及
び、愛護に富んだ美味い食味を各家庭の食卓に
どどりおくりました

7 ソコソコイナゴに忍びよるお手々の包圍網
2 大休止してお舞をひらくイナゴ討伐隊
3 獲れる、面白いイナゴ。彼はいつかイナゴで
杯だ

情報局國民演劇参加作品
吉田三郎作「忠臣蔵」
於 東京 歌舞伎座
本公演四月十一日公演

深山の神祕に戦勝を祈念する御使を前に、甲
冑姿に身を固めた武將の姿で忠臣蔵が現はれ、
「君を守り奉り、仇を防ぎ國に報ゆる心」を語
り、涙をよび戦場の空にかき消えるといつた節
で、夢幻的景観の裡に崇高、厳格な氣魄の舞
臺に漲る、國民の士氣昂揚に資するところ多き
演劇である

復習室

本報からあなたは何を學んだ
てせうか。

1 海軍志願兵の志望ですが、
願書は何處へ出せばよいので
せう。(3頁)

2 マレー、ボルネオ、ビルマ方
面から拉致された日本人は
日英交換で歸つて来ましたが、
その大部分の人は何處で働
くことになりましたか。(8頁)

3 南方作戦では米英露露などの
敵兵がうんと捕まりましたが
これら敵俘虜の数は約〇〇〇
です。(11頁)

4 政府から表彰された子實家庭
は全國でどの位あつたでせ
う。(17頁)

5 海軍志願兵の兵種はなかに飛
行兵はありますか。(8頁)

6 南方共同圏には至るところに
準備が整つて生活してゐます
が、その数は五百万、七百萬、
八百万、一千万、一千万と
ちがひが多いでせう。(14頁)

7 陸軍中隊の数は日露と
ちがひが多いでせう。(14頁)

8 少年水雷兵、河の流水艦を
測る兵、潮流を測定する
兵、敵艦の所在を測定する
兵。(3頁)

9 日本一の子實家庭に生まれた
子實の数は、十人、十四人、
二十人、二十人、二十人、
二十五人。(17頁)

10 私は廣島縣の十六歳の少年
ですが、今から海軍志願兵に
なれるでせうか。(3頁)

一問十點としてあなたは何點
でしたか。

海軍志願兵の練習課程は海
軍省承認済(第五二四二號)

★表紙

僕は海軍志願兵です。志願
兵になれる年齢は、一般水雷
兵は十五歳から二十一歳まで、少
年水雷兵、少年電信兵十四歳
八ヶ月から十九歳まで、飛行
兵十四歳八月から十八歳ま
で、軍樂兵十六歳から二十歳
までです

高真週報(機轉版)
昭和十七年十一月四日印刷
情報局
内閣印刷局
東京市豊島区

定 價
一部十錢(送料一錢)
(外埠郵送は依り地別)
▲郵政特配郵便物の方は
部十錢(送料一錢)の割
合を以て郵費を添へ御申
込み下さい。
▲特大紙の場合は其の郵費
御持込金より郵費を申安
けます

申 込 所
全國各地官報販賣所
書店・新聞社
新聞販賣店
高真材料店

高真選報 昭和十七年十一月十日 郵便局受取可切手十七年十一月四日発行 郵政省 同印刷局発行 第百四十五號

彈丸切手

第9回売出

11月1日ヨリ

15日マデ

1枚 2円

割増金

1等1000円

以下多数

当籤割合

11枚=付1枚

抽籤 11月20日

抽籤の済んだ切手は五枚以上
まとめて郵便局へお差出しの
上、特別据置貯金證書と引換
へて下さい。

内閣印刷局印刷發行

※特別郵便-A4切手定額は33円9角の寄本